

# 企画概要: VANHOTEL

VANを改造し、中をラグジュアリーにした VANHOTEL事業(VANでの宿泊)を行う。キャンピングカーではなく、より安価に手に入れることのできる VANHOTELを想定。今回は、つくば市の資産を利用しVANで楽しめるスポットを提示し、筑波大生をはじめとした若年層、留学生などを対象に景観の素晴らしさ各スポットの魅力をVANでの宿泊を通じて体験してもらう。



・VANHOTELのイメージ図  
(平沢官兵衛遺跡から筑波山の景色)

## ・提案メンバー

メンバー	分担
(株)forent (筑波大発ベンチャー) 代表取締役・塚崎浩平 (ほか)	1-1. 地域活性化システム(LAS)の全体設計・実施 1-2. 特にLASのProcessの企画・設計・実行
筑波大学 システム情報工学科 社会工学専攻 有馬澄佳研究室	2-1. R8地域共通で使えるLASのInput/Outputの評価指標の設計 2-2. 1-2のサポートと、2-1の実証的評価
地域ブランディング研究所 石川直樹 (筑波大学OG)	3-1.地域にお金が落ちる仕組みの提案と検証 3-2.最初は国内でも、インバウンドに向かう展開の構想
アイ・ティ・イー株式会社 CEO パンカジ・クマール・ガルグ	4-1. 事業環境整備のサポート(特にアイスバッテリーの貸与等) 4-2.セミナー:先端Ecoシステムアントレプレナー育成 4-3. 国際交流

## 実施までの流れ



## 実施場所

- ・北条:国登録有形文化財「旧矢中邸」、宮本家店蔵、北条大池、平沢官衙遺跡、廃校(旧北条小・旧筑波東中)
- ・小田:宝篋山、小田小学校、華の幹(古民家を活用)
- ・大曾根:鹿島台
- ・吉沼:霧筑波の蔵元である「浦里酒造」

## 継続性

VANHOTEL自体は、他の不動産と異なり、基礎を持たない。そのため、現在問題となっている空き家、耕作放棄地などの負の遺産を残すことなくその土地に宿泊客を生み出し、飲食店、お土産などの購買・地産地消を促し現地での経済効果にも繋がる。

## 主起案者フォレント株式会社について

ExCAMPという自分の持っている土地を使わないときに、一時的に貸し出して収入を得たいというホストと、キャンプに必要な土地を、必要な期間だけ使用したいというキャンパーの双方のニーズをマッチングするWEBサービスを展開しております。

2018年に筑波大学を卒業し、筑波大学発ベンチャーとして登録されている会社になります。

2019年のつくばVAN泊にて、つくば市とコラボ実績もあります。